様式例

貸切バス（初任運転者・準初任運転者）特別指導記録簿

営業所名		運行管理者	印
実施年月日・時間（必須）	月　日　時　分 ～　時　分		時 間
実施場所（必須）		指導講師（必須）	
受講者氏名	印		

【初任運転者指導項目】　※ 選任する前に全項目実施する

□ 座 学 （①から⑥まで合計１０時間以上）　　□ 実技指導（２０時間以上）

□ ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）

□ ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法

□ ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの着用徹底等含む）

□ ④ 危険の予測及び回避 （制動装置の急な操作の方法の指導を含む）

□ ⑤ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車（ASV車両）の適切な運転方法

□ ⑥ ⑦で実施したﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録を利用した運転特性の把握と是正

□ ⑦ 安全運転の実技（**当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導**）

【準初任運転者指導項目】□ 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急な操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※
準初任運転者に対する実技指導は、運転経験のある貸切バスより大型の車種区分の貸切バスに乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

１．指導に使用したテキスト、資料、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録等を添付又は保存する（３年間保存）
２．具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載し、この書面を台帳に添付する
３．指導実施後、ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う